

「効率、公正・正義、幸福」

同志社大学政策学部

林 敏彦

tohayash@mail.doshisha.ac.jp

# 効率性の難問

- クラブ活動
- 労働参加
- 偏差値選抜
- 建物の効率性
- 無駄のないまち
- クリーンな環境

上手な選手だけを試合に出し、選ばれなかった部員は試合に出さない方が良いか。

- **勝つことだけが試合の目的ならば、その方がよい。**
- **クラブ活動の目的を、勝負だけでなく、仲間づくり、チームプレイ、助け合いの心の育成などにも求めれば、頑張っている部員も出場させる方がよい。**

生産能力の高い人だけが働き、能力の衰えた高齢者や能力の低い障がい者は分配を受けるだけでよいか

- 効率よく生産するためには、その方がよい。
- 働くことの意味を物的生産以外にも求め、働く喜び、自尊心なども含めれば、社会参加の喜びを広げるために、生産効率を多少犠牲にしてもよい。

# 偏差値の高い人だけを集めた大学は、有為な人材を作るか

- 知識の収受だけが大学教育の目的なら、偏差値の高い人ばかり集めることで効率的な教育ができる。  
(東大方式)
- 社会をよりよく理解できる有為な人材を育てることが目的なら、多様な学生を受け入れる方がよい。  
(ハーバード方式)

# 最大限の耐震性をもつ建物は 有用か

- **いかなる震度にも耐えられる建物は、コンクリートの固まり。**
- **その中に部屋はない。**

無駄を一切省いたまちは、  
住みやすいか。

- 効率性を重視したまちは、住むのに便利。
- ただし、不測の事態に対応できない。
- リダンダンシーが必要。
- 愛着が持てるか。

# 衛生環境が整った場所で子どもを育てた方がよいか

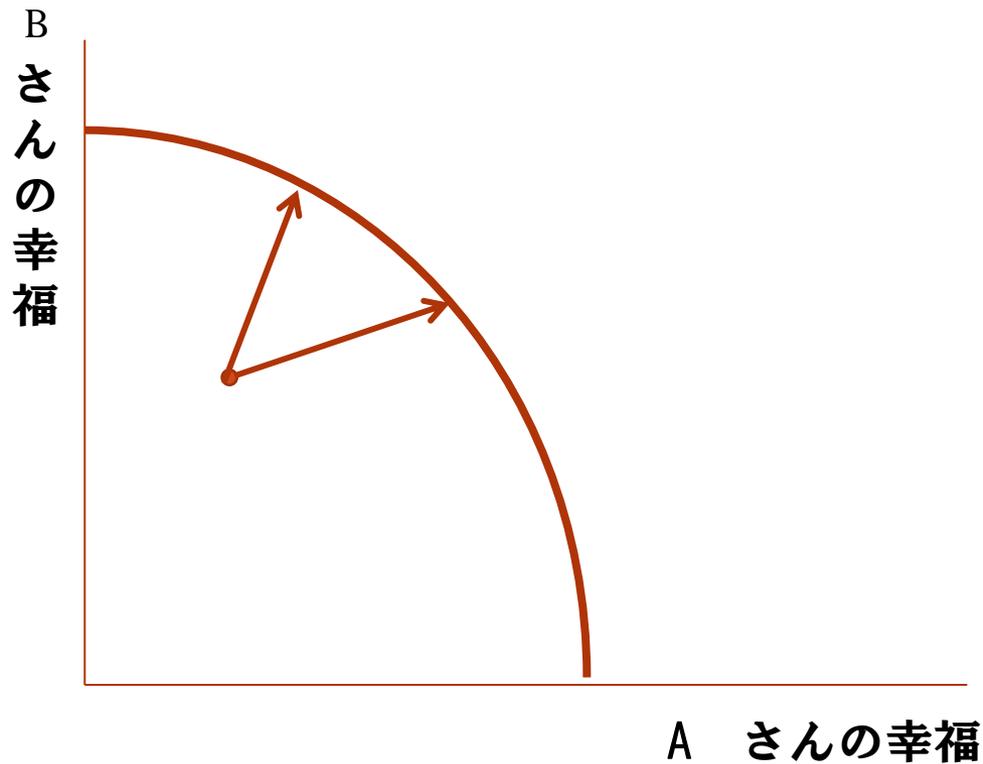
- インフルエンザや食中毒から子どもを守るためにはその方がよい。
- 極端に消毒された環境では、微生物を含めた自然環境がゆがめられていて、長期的には子どもの免疫力が形成されない。（公衆衛生学者）

# 効率性概念 1

- 近代精神（デカルト）
- 近代（世俗主義、個人主義、合理主義）
- 機能主義
- 合目的的合理性
- 経済的合理性
- 手段から美意識・価値への昇格

# 効率性概念 2

- パレート効率性



# 公正さの難問

- **アリとキリギリス**
- **危険地に建つ住宅**
  - **生徒の成績**
  - **幸福なトラ**
- **奴隷か自由労働者か**
  - **交通信号**
  - **所得の平等**
- **マンションの役員**

- **社会保険料を長年にわたって支払わなかった人が、高齢になって無年金の貧困者になった。社会はこの人を救うべきか。（アリとキリギリス）**
- **ある人が、すべての勧告を受け入れず、危険個所に建っている住宅に住み続け、災害に遭った。社会はこの人を救うべきか。**

- 必死に勉強しても成績が上がらない生徒と、頭は良いが勉強しないため成績が悪い生徒を、同じように評価して良いか。
- 檻の中で飼われているトラと、野生のトラでは、どちらが幸せか。
- 主人にかわいがられ、手厚く保護されている奴隷と、失業中の自由労働者はどちらが幸せか。

- 運転者を平等に扱うためには、東西の信号も南北の信号も同時に黄色（注意信号）にしておくべきである？
- 働くものも働かないものも、すべて同じ所得を受け取れる制度が望ましい？
- マンションで輪番と決まっている役員を免れるために、管理費を余分に支払うという申し出があった場合、受け入れるべき？

# 公正さについて

- アリストテレス（等しいものは等しく、等しくないものは等しくなく）
- 過程の公正さ（フェアなルール）
- 共生の作法としての正義

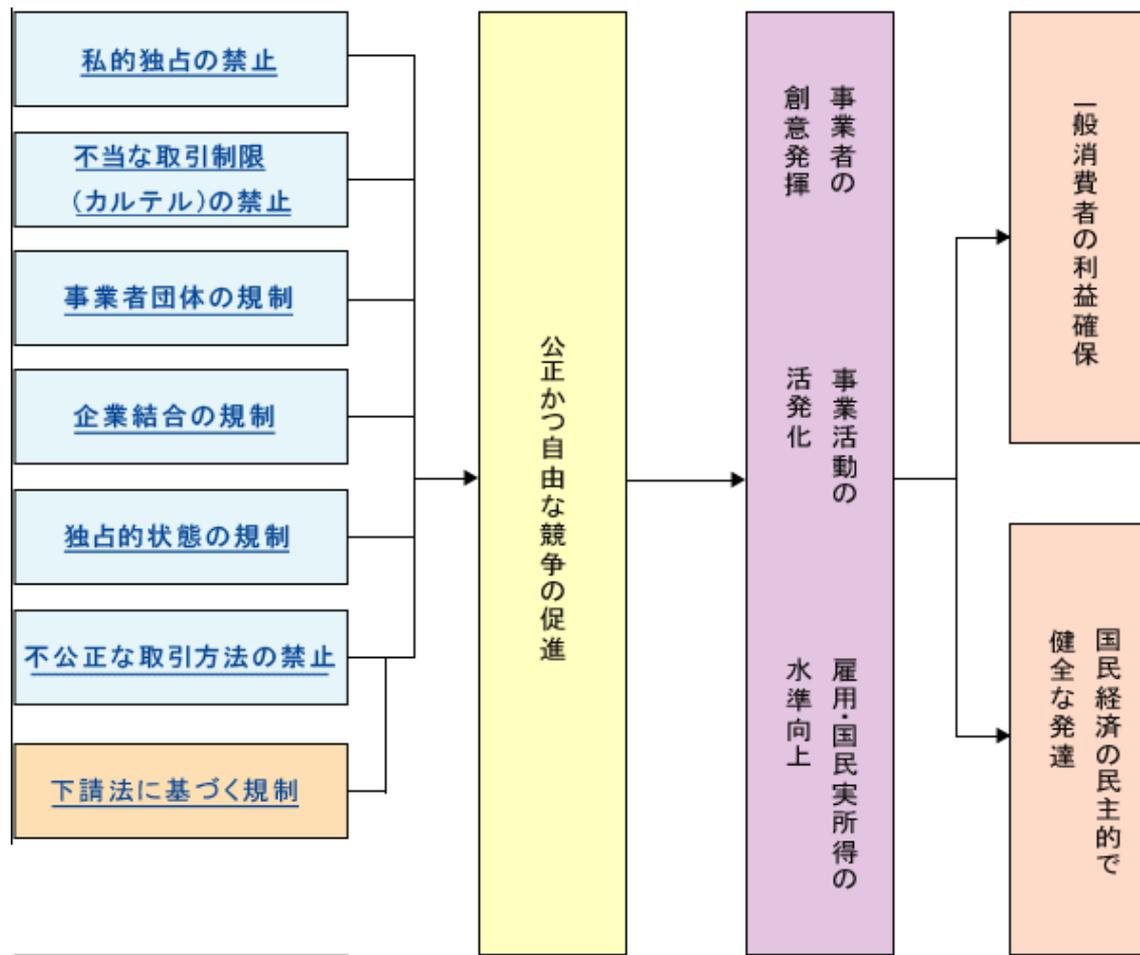
# 憲法

- **第13条** すべて国民は個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。
- **第14条** すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

# 公正貿易ルール

- 自由貿易は、ある一定の条件のもとでは当事国双方に貿易の利益をもたらすが、相手国からの輸入の急激な増加に對して国内の産業調整がスムーズにいかず、その産業が大きな打撃を受け、国内で失業が増加するなどの場合、貿易の拡大が伴って、貿易の攪乱がおこる。自由貿易は、貿易の拡大が伴って、貿易の攪乱がおこる。自由貿易は、貿易の拡大が伴って、貿易の攪乱がおこる。
- このように、相手国に攪乱を引き起こすような無秩序な輸出自由貿易の利益が、京東を摩擦利益を公正貿易の原則として、1973年（昭和48）秋から開始された。アメリカを中心とした自由貿易体制の確立を要求する声が強くなり、1973年（昭和48）秋から開始された。

# 公正取引委員会



# 効率か、公正か

- 効率性はプロセスへの評価であり、公正さも手続きの公正さを求める限り、究極の価値判断とはなりえない。
- 結果の公正を求めるならば、価値判断をしなければならない。

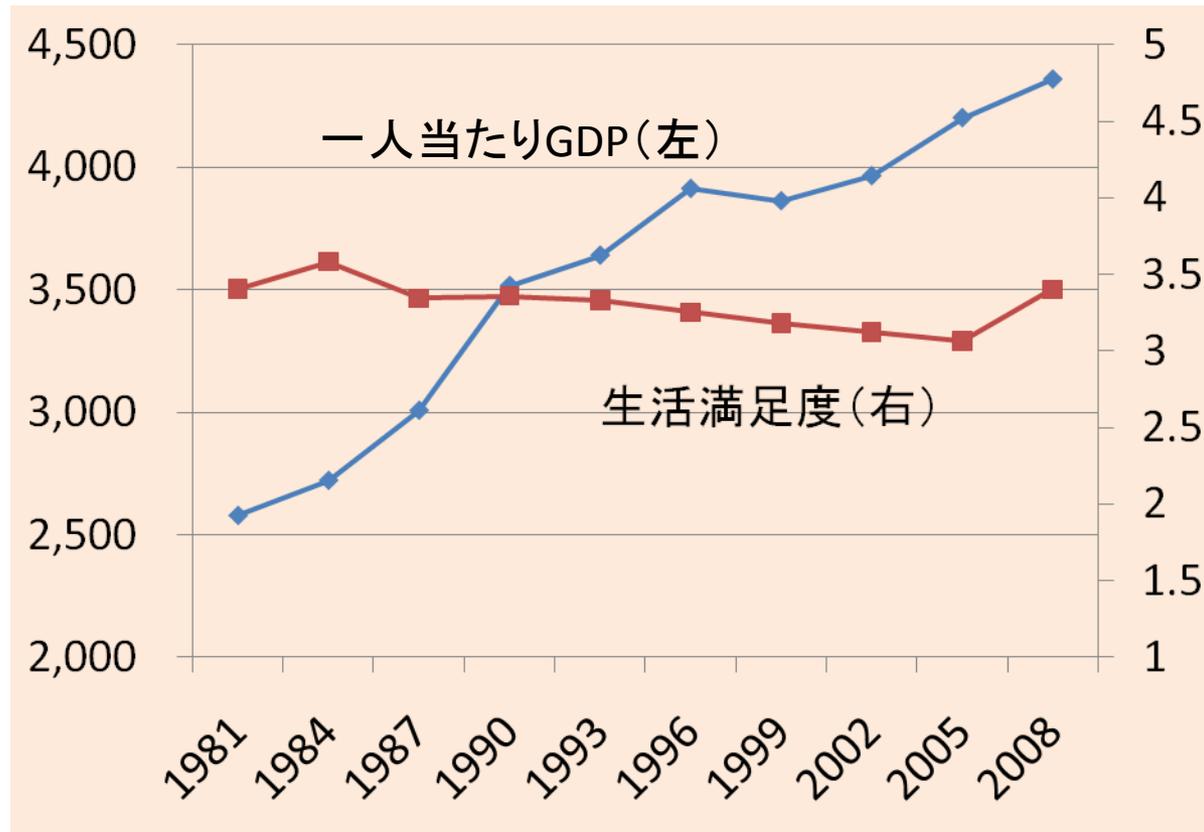
# 政治的プライオリティの変遷

年代	政治的循環	価値の循環
1900-1910	理想主義 T. ルーズベルト	正義、民主主義
1920	自由主義 クーリッジ	自由、効率
1930-1940	理想主義 ルーズベルト	公正さ、連携
1950	自由主義 アイゼンハワー	自由、成長
1960-1970	理想主義 ケネディー・ジョンソン	生活の質、偉大な社会
1980	自由主義 レーガン	自由、市場主義、規制緩和
1990	理想主義 クリントン	社会的政策
2000	自由主義 ブッシュ	自由、力と市場
2010	理想主義 オバマ	社会的政策、グリーン

# 幸福

- イースタリンのパラドックス
  - 幸福研究の進展
  - 国連人間開発指標
- グロス・ナショナル・ハピネス
- ニューズウィークのランキング

# イースタリンのパラドックス



内閣府「国民生活選好度調査」

# 国連開発指数ランク

ランク	1980年	1990年	2000年	2007年
1	ノルウェー	カナダ	ノルウェー	ノルウェー
2	スイス	ノルウェー	オーストラリア	オーストラリア
3	アメリカ	アメリカ	スウェーデン	アイスランド
4	カナダ	スイス	オランダ	カナダ
5	オランダ	日本	アメリカ	アイルランド
6	日本	オランダ	カナダ	オランダ
7	アイスランド	アイスランド	スイス	スウェーデン
8	スウェーデン	フランス	ベルギー	フランス
9	デンマーク	スウェーデン	アイスランド	スイス
10	フランス	フィンランド	日本	日本

UNDP, *Human Development Report*

# ニューズウィークのランキング

ランク	総合	経済活力	生活の質 (大国)	教育	医療	総合 (大 国)
1	フィンランド	シンガポール	ドイツ	フィンランド	日本	日本
2	スイス	アメリカ	アメリカ	韓国	スイス	アメリカ
3	スウェーデン	韓国	フランス	カナダ	スウェーデン	ドイツ
4	オーストラリア	イギリス	日本	シンガポール	スペイン	イギリス
5	ルクセンブルク	スウェーデン	イギリス	日本	イタリア	フランス
6	ノルウェー	オーストラリア	イタリア	スイス	オーストラリア	イタリア
7	カナダ	スイス	ロシア	エストニア	シンガポール	メキシコ
8	オランダ	フィンランド	メキシコ	イギリス	ノルウェー	ブラジル
9	日本	ルクセンブルク	タイ	アイルランド	ニュージーランド	ロシア
10	デンマーク	日本	トルコ	オランダ	オランダ	トルコ

# 同志社の教育理念

- **自由主義**  
自主、独立、責任
- **キリスト教主義**  
良心、正義、博愛、倫理
- **国際主義**  
開放、普遍